

❖ お薬手帳用シールの例

血糖値の上昇に応じて、インスリンの分泌を促すお薬です
インスリンそのものではありません。インスリンのかわりにはなりませんので、使いはじめは特に、血糖値のコントロール、高血糖、低血糖にご注意ください。

お薬が効果を発揮するためには、
食事・運動療法がきちんと行われていることが必要です。糖尿病の治療では、どのお薬の場合でも、食事・運動療法が行われていることが前提です。もちろんリラグルチドも例外ではありません。今まで以上に注意して取り組みましょう。

1日1回、なるべく決まった時間に注射してください
1日1回の注射で、ほぼ24時間効果が持続します。効果を安定させ、注射を忘れることを防ぐためにも、毎日決まった時間に使用しましょう。
あなたの使用時間は_____時です。

はじめて使用される方に
使用量は段階的にあげていきます。
一日一回0.3mg使用してください。
使用後に気づいた体調の変化について以下に記載し、医師にお伝えください。

注射部位は毎回変える
注射針は毎回新しいものに取り換え、注射する部位も毎回2～3cmずらして注射してください。

**便秘や胃部の不快感、
食欲不振などの症状が現れることがあります**

胃の運動をゆっくりにしたり、食欲を抑えたりする作用を併せもっています。少量から使いはじめ、使用を続けていくうちに、改善することが多いのですが、食事の量が著しく変化するなど、症状が強い場合には、必ずご相談ください。

低血糖にも注意しましょう

リラグルチドだけの使用では、低血糖が起こることはほとんどないといわれています。ただし、他の糖尿病のお薬も使用されている場合には、リスクはぐっと高くなります。食事量が少ない、運動量が多いなど、日頃からの低血糖に対する注意を忘れずに。

薬の保管方法

未使用の薬は、冷蔵庫に保管してください。このとき凍らせないように注意してください。使用中の薬は冷蔵庫に入れないで、室温で保存してください。

注入ボタンが押しにくいとき

無理にボタンを押さえたりしないで、針が曲がったりしていないか確認してください。

注入ボタンを押したまま針を抜いてください

針を刺したまま注入ボタンを押す力をゆるめると、血液が逆流する可能性があります。血液が混ざったものは、使用しないでください。